

# スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の見分け方と対策

令和 2 年 5 月

## 1 スクミリンゴガイとは？



- ▶南米原産の淡水巻貝
- ▶雑食性（基本は植物を食べるが、魚等の動物質のものも食べる）
- ▶寿命が3～4年（越冬できれば）

## 2 他の貝との見分け方

### スクミリンゴガイ



- 螺旋下部（開口部）の層が広い
- 全体的に丸い（ずんぐりむっくり）
- 殻が薄い
- 触角が長い
- 産卵する

### マルタニシ（在来種）



- 螺旋上部の層が広い
- 全体的に細長い
- 産卵しない

ほ場内にはほかにモノアラガイやサカマキガイといった巻貝も生息しています。これらの貝とスクミリンゴガイは「ふた」の有無で区別します。



※モノアラガイ、サカマキガイはふたがありません。



ほとんどが「モノアラガイ」、  
「サカマキガイ」

### 3 対策

貝や卵塊は見つけ次第つぶします。(貝には寄生虫がいる恐れがあるため、素手で触れないこと。)

#### 越冬場所の管理(代かき前まで)

用排水路やほ場内で越冬している貝は寒気にさらすことで死滅します。越冬貝が次年度に繁殖するため、耕うんによって①貝を寒気にさらし、②物理的に破砕することで密度を下げましょう。



多数の貝が  
用排水路で越冬



ほ場内では  
穴を掘って越冬

#### 【防除のポイント】

- ▶ 用排水路の泥上げ
- ▶ 雑草除去
- ▶ 水田の落水
- ▶ 用水マスの貝の除去
- ▶ 冬季の耕うん

貝は土中の深さ0~5cmで越冬。  
深さ6cmを目安に耕うん。  
走行速度を遅くし、回転数を早くする。  
(浅く細かく耕すと貝が破砕されやすい)

#### 侵入防止(取水期間)

5~10mmの網目の  
ネットや網を設置



#### 【防除のポイント】

特に用水からの侵入が多いのは以下の時期

#### ▶代かき・田植えの入水時

(用水路で越冬した貝が侵入)

#### ▶中干し後の入水時

(用水路で繁殖した貝が侵入)

この時期だけでも網やネットを設置することで、多数の貝の侵入を防ぐことが可能。

#### 食害防止(移植後2~3週間)

やわらかい葉を好むので、移植後の苗は特に食害を受けやすいです。必要に応じて、薬剤散布をしてください。

#### 【防除のポイント】

- ・水が深いと食害を受けやすくなるため、代かきは均平にする。
- ・浅水で管理すると食害を抑制できる(水深4cm以下)。

代かきが均平でないと、深水の部分で  
特に食害される



連絡先

山武農業事務所改良普及課  
0475-54-0226